

東堂陽一

議会便り 第12号 (2-5)

市内①
桜木①

平成18年 7月 19日発行

2年目に入った新掛川市。助走期間は終わり、飛び立つときを迎えています。しかし、残念ながら、ここまでは十分な成果のあった一年とは言い難い面もある。これを取り戻すべく、気持ちを一つにして、力を合わせていかなければなりません。課題は多いですが、議会の一員として、充分議論をして市政が一層前進するように努力してまいりたいと思います。

I. 5月臨時会 (5月16日)

(審議内容などについて)

議長、副議長の交代をはじめとする議会人事を行ないました。また老人保健特別会計補正予算や千羽清掃センター撤去工事請負契約の締結など10件の議案審議を行い、10件全てを可決いたしました。また下記の3特別委員会の設置を決定しました。

- ① 南北道・幹線道路特別委員会 (継続設置、2年目)
- ② 学校教育特別委員会
- ③ 広域行政問題特別委員会

私はこの一年間総務委員会と学校教育特別委員会に所属することになりました。掛川市の重要課題であり、議論は白熱するでしょうが、より良い提言をしてまいりたく、皆様のご意見もお聞かせ願えればと思います。

(助役退任について)

この臨時会で大倉助役の6月1日付での退任が市長より表明されました。理由は持病と高齢ということです。来年3月には助役、収入役の制度が法的にはなくなり、新しく副市長制度が出来ますが、それまでは助役は空席となることになっております。

(教育長の去就は?)

また、佐藤教育長も御高齢であり、本人の意思も考慮し、6月議会最終日までには何らかの結論を出すとの市長報告がありました。



II. 3つの特別委員会が設置された

① 南北道・幹線道路特別委員会 (継続設置、2年目)

合併協議会において検討された最重点議題であり、新市が融合し一体化していくために必要不可欠のものである。早期完了を目指し、調査検討を行なう。また、その他幹線道路の計画策定を検討する。

② 学校教育特別委員会

過疎化・少子化が進む中で、幼保再編、学区の見直し等、さらには小中一貫教育など、掛川市の今後の学校教育のあり方について検討をする。

③ 広域行政問題特別委員会

私立病院、消防など当面する課題の広域化(周辺市町村との連携)について調査、検討する。

III. 6月定例会開催さる (6月12日~7月4日)

(1) 冒頭行われた市長の行政報告の一部を紹介いたします

(シンドラーエレベータ)

「シンドラーエレベータ社製のエレベータは、市内公共施設にエレベータ16台・小荷物昇降機が24台ある。このうち、不具合が生じたエレベータは、ききょう荘で閉じ込み3件と、停止時に段差が生じた3件と、市立総合病院において1分以内の停止2件、扉開閉不備3件がありました。エレベータ・小荷物昇降機の点検については、エレベータが月1回、小荷物昇降機が2ヶ月に1回の保守点検を行なっていますが、今回の事故を受け、全エレベータ・小荷物昇降機について早期に点検、調査を実施して参ります。……」

(教育長人事)

「佐藤教育長より、健康の維持と音楽の道を更に究めたいため、職をできるかぎり速やかに辞したい旨の話があり、これを受けて教育委員会開いて協議してもらうように依頼した…」とのことでした。しかし、約束?であった議会最終日までには何らかの報告はなされませんでした。

Ⅲ. 6月定例会 (前ページよりの続き)

(桜木幼稚園跡地利用)

市長行政報告の中では、桜木幼稚園跡地の活用方法にも触れていますが、桜木の区長会、学習センター長、市議会議員名で次のような要望がしてあります。「桜木地区としては手狭になった地域学習センターおよび高齢化社会の到来により地域に必要とされる高齢者福祉施設の整備用地として利用をしたい。」

ただこれらの事は実現するにしても、数年先のことでありますので、当面は耐震性のない古い園舎は解体し、耐震性のある遊戯室は残し集会施設等の機能として活用する案が有力です。

(2) 議案の審議

(公営企業会計決算の認定)

病院事業会計決算および水道事業会計決算について審議を行い、賛成多数で認定をいたしました。ただ、課題が無いわけではなく、病院では医師不足、広域化の検討、赤字経営などが緊急の課題であり、水道では旧1市2町間での料金統一、鉛管や石綿管の改良などが挙げられます。

(一般会計補正予算の審査)

総額53,539万円余りの一般会計補正予算を賛成多数で承認しました。

(歳出)

地域環境整備調整費増	15,650万円
地区要望に応えるための、いわゆるどぶ板予算です。	
小学校施設補修費増	2,420万円
千浜小の外壁塗装や二つの小学校の調理場補修費です。	
子どもと親の相談員事業費増	31万円
桜木小と和田岡小に配置予定です。	
(仮称)原谷幼保園建設事業補助金増	8,155万円
予備費	23,686万円

(条例議案4件を可決)

議案第91号 掛川市自然環境の保全に関する条例の制定について
野生動植物の保護などを目的にしている。

議案第92号 市長の給料の特例に関する条例の一部改正について
特例条例であり、給料カットを「当分の間」としてあったものを「平成21年3月31日限りとする」という当局提案であったが、審議の後、議員側より日付を「平成21年4月23日限りとする」という修正案が提出され、これを可決しました。

(3) 請願・陳情の審査(4件)

障害者自立支援法施行に伴う療育施設の利用者負担軽減に関する請願	採択
「さんりーな」利用「パスポート券」制度存続を願う陳情書	不採択
障害者自立支援法施行に伴う掛川市独自の支援策を求める陳情書	採択

(4) さんりーなパスポート券

この問題については、前年度の文教厚生委員会で相当の時間を掛けて議論をしました。その結果パスポート券廃止は止むを得ないという結論に達し、本会議でも可決されてきました。当時の議事録を見なおしますと、今回皆さんから寄せられた意見、提案、疑問等もほとんど議論の対象になっています。その上での改正案でした。廃止に至った一番の理由は民業を圧迫すべきではないということですが、このことを含めて、事態の推移を見守るべきだという意見を出してあります。少し時間を置き、影響を調べて、そのデータに基づいて再検討するのが妥当だと考えています。

Ⅳ. 7月臨時会急きょ開催される(7月11日)

教育長交代の人事案件のために急きょ開かれました。新しい教育長には杉浦靖彦氏が就任されました。

Ⅴ. 最後に

大河ドラマ館は入館者数が順調に推移して7月3日現在で169,563人を数えています。7月1日より夜間開館も始まり、もうすぐ夏休み。9月からはテレビ放送に掛川が登場するので、更に入場者数は伸びるでしょう。このままいけば、最終的には35万人程度が予想されますが、この数字は計画段階で予想されたものとびったりです。ちょっとびっくりしました。